

▽ 井端 正幸 教授 IBATA, Masayuki



学 科： 法律学科

担当科目： 憲法Ⅰ・Ⅱ、比較憲法、演習Ⅰ・Ⅱ、など。

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ① 龍谷大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
- ② 法学修士
- ③ 日本公法学会、日本政治学会、全国憲法研究会、憲法理論研究会、沖縄法政学会、など。
- ④ 佐敷町男女共同参画社会をつくる懇話会委員、など。

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 憲法Ⅰ	2010年4月～7月	2010年度前期、法学部法律学科1年生、講義形式、専門科目、4単位、30回、150名登録、優・23名、良・56名、可・44名、不可・27名
2) 憲法	2010年10月～2011年2月	2010年度後期、法学部地域行政学科1年生、講義形式、専門科目、4単位、30回、160名登録、優・12名、良・52名、可・72名、不可・24名
3) 憲法演習Ⅰ・Ⅱ	2010年4月～2011年2月	2010年度、通年、法学部法律学科3・4年生、演習形式、専門科目、夏期休暇終了後レポート提出(3000字以上)、学士学位取得者・10名
4) 憲法演習Ⅱ	2010年4月～2011年2月	2010年度、通年、法学部地域行政学科4年生、演習形式、専門科目、夏期休暇終了後レポート提出(3000字以上)、学士学位取得者数・11名

5) 憲法特論 I	2010 年 4 月～7 月	2010 年度前期、法学研究科 1 年生、講義形式、大学院、2 単位、15 回、6 名登録
6) 憲法特論 II	2010 年 10 月～2011 年 2 月	2010 年度後期、法学研究科 1 年生、講義形式、大学院、2 単位、15 回、6 名登録
7) 憲法特殊研究 I	2010 年 4 月～2011 年 2 月	2010 年度、通年、法学研究科 1 年生、演習形式、大学院、4 単位、30 回、6 名登録
8) 憲法特殊研究 II	2010 年 4 月～2011 年 2 月	2010 年度、通年、法学研究科 2 年生、修士論文指導、修士学位取得者・2 名、対面指導・30 時間
2. 作成した教科書、教材、参考書 1) 『憲法と沖縄を問う』(法律文化社)	2010 年 7 月刊	同書は、学生、一般市民向けの教科書として作成。渡名喜庸安琉球大学教授、仲山忠克弁護士との共編著。
3. 学生支援活動 1) 学習支援 演習での報告内容等に関する指導・支援		指導学生数・約 20 名
4. 学外での教育活動 1) 北谷町主催憲法講演会講師	2010 年 5 月	北谷町主催の憲法講演会において、北谷町民を対象に「歴史の中の日本国憲法」というテーマで講演した。 参加者約 150 名。
2) 立命館大学土曜講座講師	2010 年 6 月	立命館大学土曜講座において、京都市民を対象に「サンフランシスコ体制と沖縄」というテーマで講演した。 参加者約 230 名。
5. 教育改善活動(FDなど)	2010 年 7 月、2011 年 2 月	憲法 I (前期) および憲法 (後期) の講義終了後、学生による授業評価アンケートを実施した。話が聞き取りにくかった、との声はいくつかあったため、今後改善する必要がある。

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

#### 【 共編著 】

- ①『憲法と沖縄を問う』(共編著・法律文化社、2010年)
- ②『総批判 改憲論』(共編著・法律文化社、2005年)
- ③『CD-ROMで学ぶ現代日本の憲法』(共著・法律文化社、2003年)
- ④『日本国憲法のすすめ』(共著・法律文化社、2003年)
- ⑤『歴史の中の日本国憲法』(共著・法律文化社、2002年)、など。

#### 【 主要論文 】

- ①「普天間基地をめぐる諸問題」(法学セミナー、2010年4月)
- ②「日本国憲法の原点を考える」(沖縄国際大学公開講座 19『うまんちゅ法律講座』、2010年3月)
- ③「沖縄からみた改憲論」(日本の科学者、2006年8月)
- ④「日米同盟と世界秩序」(法律時報臨時増刊『憲法改正問題』、2005年5月)
- ⑤「フランス復古王政期の憲法思想の一側面」(沖縄法学第29号)
- ⑥「七月王政期の憲法構想の交錯」(沖縄法政研究第3号)、など。

## 研究分野

憲法学 フランス憲法史 近代フランスにおける憲法構想の交錯

## 【Eメール・ホームページ等】

ibata@okiu.ac.jp

2011年8月30日現在